～宮大生のための交換留学～

（中国・上海交通大学）留学報告

教育文化学部・ 人間社会課程言語文化コース 4年 （長野 美沙紀）

〇留学先：（中国・上海交通大学）

〇留学期間：2012年9月～2013年7月(前期9月～1月、後期2月～6月）

〇渡航時の学年： 3 年次 後期

〇渡日前の手続について

・留学に至った経緯について：

私の父は海外に関わる仕事についていて、一年中世界のあらゆる国に飛び回っています。そんな父の姿に影響をうけ私も小さい頃から海外に対して強い興味をもっており、いずれ留学したいと思っていました。始めはヨーロッパに興味が向いていたのですが、ここ数年の急速な経済の発展を遂げる中国に興味を抱き始めました。今日の世界は中国なくしては語れないというほどまでに世界において主要な位置を占める中国を実際にこの目で見て、感じたいという気持ちから上海留学を決意しました。また、中国の中でも上海は比較的数多くの外国人が滞在しているため中国人だけにとどまらずより多くの国の人々と交流する機会があるということも上海に留学しようと決めた理由の一つです。

・大学での手続について：

留学以前に必要だった手続きはまず健康診断です。血液検査やレントゲン写真など多くの検査が必要になるので宮崎大学付近の病院の中では宮崎東病院でないとこれらの全ての検査を受けることはできません。費用はおよそ2万円です。次に、海外保険への加入です。やはり海外ではなにが起こるかわからないので保険への加入をお勧めします。また留学先の学校では保険への加入が必須であるとこもあるようなので加入しておくべきだと思います。ちなみに私は朝日火災海上保険株式会社の10万円程度の保険に加入しました。最後に予防接種です。これは必須ではないのですが受けておいて越したことはないと思います。中国渡航前に進められている予防接種は A 型肝炎、B 型肝炎、破傷風、日本脳炎、狂犬病等で、もちろんこれら全て受けた方がよいのですが結構値段が高くこれら全て受けると10万円弱かかります。ですから、親と相談して何を受けるか決めた方が良いと思います。また、私は奨学金については受給していなかったので手続きの必要はありませんでした。

・査証取得：

中国のVISAは九州では福岡・長崎にある中国大使館において発行してもらうことができます。ちなみに私は福岡の中国大使館で手続きを行いました。XVISA申請時に必要なものはパスポート(ビザ有効期間＋1 ヶ月以上の残存有効期限、空白のページが 3 ページ以上)、証明写真1枚、パスポート写真つきページコピー1枚、入学許可書コピー1枚、健康診断書の両面コピー1部、・中国大使館指定の査証申請書(記入済み)。私は自ら中国大使館に行って手続きを行ったのですが、VISAの発行は代行して手続きも行えるようなのでその場合はまた必要な書類等も少々異なると思われます。VISAの申請から発行までに必要な期間は、申請内容に特に問題のない場合だいたい5日程度です。もし、何らかの問題があった場合発行に1か月以上かかる場合もあるので早

めに手続きを終えておくことをお勧めします。VISAを取得した後,中国に入国してから30日以内に現地において長期滞在のVISAを申請する必要があります。

〇留学体験記：

私は中国の上海に約10か月留学しました。私が中国に渡航してまもなく尖閣諸島問題で日中関係が悪化し、中国に滞在している日本人が暴力を振るわれたり、日本食を提供している店の窓ガラスが割られたりする暴動が起きました。日本でもそのことに関する報道が多くあり、私の無事を心配してくれている人々から多くのメッセージをもらいました。幸い上海ではそれほど激しくなく私自身被害は受けずに済み、それらの暴動も目にすることはありませんでした。日中関係の悪化からほとんどの日本人はあまり中国に対していい印象をもっていないと思いますが、私自身もその一人でした。しかし、実際に上海で生活してみて中国に対する印象が全く変わりました。私が道に迷っていると親切に教えてくれる人や、日本に興味があり日本語や日本の文化を勉強したいという学生が私の想像以上に多くいました。確かに、皆がみなそうではありませんがそれは中国だけではなくどの国でも同じことが言えると思います。私は留学を通して国家同士ではあまり良くない関係の国々でも、一対一で個人的に付き合うとそういった国籍などは一切関係ないのだということを身に染みて感じることができました。そして、日本では中国の悪い情報しか報道されないため必然的に多くの日本人が中国に対してよくない印象を抱いてしまっているので、一人でも多くの人にこういった一面も中国にはあるのだということを知ってほしいと願います。

上海での生活について

私の留学期間中は多少の変動はあったのですがおよそ1元14～16円くらいでした。物価は日本よりも安く、一般の飲食店では一食10～15元程度で食べられます。また、道端にある露店や個人で経営している店(飲食店を除く)、果物屋などでは基本値下げ交渉をしてから購入します。特に観光地などでは外国人だからといってもとの値の3倍くらいの値段で言ってくるので交渉が苦手な人は買わないことをお勧めします。デパートなどの正規店では日本よりも高いか同じくらいの値段で値下げ交渉はできません。生活費は私の場合一か月およそ3000元くらいでした。

上海生活における留意点

一つ目に、上海では夜になると道端に露店が多くあり、焼きそば、チャーハン、串焼きなどがお店で食べるよりも安い値段で食べることができます。しかし、食に対する安全が保障されてないので特におなかの弱い人などはそういったところで食べることはあまりお勧めしません。二つ目に、これは上海に対してだけではなく海外全般に対して言えることですが、海外は日本ほど安全なではありません。さらに、多くの外国人は日本人に対してお金持ちという印象をもっています。ですから、貴重品などの管理をしっかり行っておかないと簡単に盗まれてしまいます。現に私の留学中に友達が3人ほど財布やｉphone を盗まれるという被害にあいました。

大学寮について

寮は比較的住みやすく、部屋には机、クローゼット、テレビ、シャワー、トイレ、ベッド、冷蔵庫、エアコンがもともと備わっています。そのため特に苦労することはありませんでした。寮費は一日75元、夏休みと冬休みの期間は一日120元、それらを半年分まとめて支払います。水道代は半年に一度徴収され、電気代はチャージ式です。どちらも日本と比べると安かったです。ちなみに寮は男女同じでさまざまな国の人が住んでいました。

大学の環境・授業内容

入学してすぐに授業のレベルを決める簡単なテストがあります。その点数によってクラスが振り分けられるのですが、レベルは全部で初級1・2・3・4、中級1・2・3、高級1・2・3の全部で10レベルあります。基本的に授業は中国人の先生によって中国語を使って行われます。授業は日本よりも自由な雰囲気で、生徒は分からないことがあると積極的に質問をしていてとても刺激を受け

ました。教科は口语(speaking),写作(writing),听力(listening),语法(grammar),阅读(reading)の５教科で、授業は一日９０min×２コマでした。空いている時間には興味のある授業を受けることができその中には太極拳、カンフー、書道など中国らしい授業もありました。

〇帰国後について

・派遣先で単位を取得しましたか？（ しなかった ）

・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？（されなかった ）

※これから申請される方は審査終了後、報告してください。）

〇今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

これから留学するみなさん、留学先では今までとは全く違う環境におかれるのですからおそらく楽しいことだけではなく辛いことも多々あると思います。しかし、それらを乗り越えた今私はあの時留学を決断して本当に良かったと思います。留学を経験して得られるものは言語の習得はもちろんのことそのほかにもたくさんあります。また、留学先では、日本にいては経験できなかったことが経験でき、出会うことがなかった人たちと出会え、知ることがなかった世界を知る機会がたくさんあります。そのような貴重な留学の機会を与えてくださった宮崎大学に関する方々、留学先に関する方々、親への感謝を忘れず留学先で頑張ってください。そして、限りある時間を有効活用して充実した留学生活を送ってください。